



文部科学省 令和7年度
外国人材の受け入れ・共生のための
地域日本語教育推進事業「地域日本語教育」
文部科学省 の総合的な体制づくり推進事業」活用

島根×創生
SHIMANE SOUSEI 2nd

SICにほんごコース



日本語教師

受講無料

養成講座

島根県内には10,000人を超える外国人住民が暮らしています。
出身や母語、仕事や家族などの生活の状況はさまざまです。

しまね国際センターでは、外国人住民が地域に住む人たちと共に暮らし、自立した生活を送る上で必要な日本語が学べる「暮らしのにほんご（仮）」を、2026年度に開講する予定です。

本講座で、生活者のための日本語教育について一から学び、SICにほんごコース日本語教師として活動してみませんか。

※講座を受けるにあたって、外国語の能力は特に必要ありません。

※日本語教育の資格等が取得できるものではありません。

定員
20人

※定員を超過した場合は
SICにほんごコースで活動
可能な人を優先した上で
抽選を行います

対象

島根県在住で、外国人住民に対する日本語教育に
関心をもち、概ね8割以上受講することが可能な人

講座期間

2025年 7月～12月

※詳細日程は中面をご覧ください

詳細・申込

詳細、申込方法はこちらをご覧ください。
<https://www.sic-info.org/event/post-29162/>



募集締切：6月20日(金)

出席率が8割以上
の方には、修了証
を発行します！



※詳細はWEBへ

120時間講座！

お問い合わせ

公益財団法人しまね国際センター(SIC)

〒690-0011 松江市東津田町369-1

☎ 0852-31-5056

✉ issyo@sic-info.org



講座を修了すると何ができるの？

SICにほんごコース日本語教師(有償)に
登録できます！



120時間講座 概要

※講座開始前に「共通オリエンテーション動画(2本、約45分)」のご視聴とアンケート回答があります。(必須)

SICにほんごコース
日本語教師養成講座

動画視聴 (オンデマンド)



39時間

- ・日本語を教えるのに必要な基礎知識が学べる
- ・日本語を必要としている対象者について知れる

2026年2月28日まで、いつでも繰り返し視聴できます。

※1単位約45分の動画
※確認テストあり

講座日程・内容等

7月
1 7月1日(火)19:00~21:00

2H

オンライン オリエンテーション
動画視聴方法・ZOOM操作について

講師：しまね国際センター職員、谷口 真理（インターナルト）

7月12日までに視聴する

動画視聴 基礎講座 日本語教育概論（3単位）

2 7月12日(土)14:00~16:00

2H

オンライン 地域の日本語教育・日本語教室について、
日本語教師の役割

講師：伊東祐郎

3 7月15日(火)19:00~21:00

2H

オンライン 島根県における「生活者としての外国人」
への日本語教育の現状と取り組み

講師：しまね国際センター職員

4 7月22日(火)19:00~21:00

2H

オンライン 日本語教育の参照枠について

講師：関崎友愛

5 7月29日(火)19:00~21:00

2H

オンライン 日本語教師に求められる資質・能力

課題

講師：加藤早苗

6 8月5日(火)19:00~21:00

2H

オンライン やさしい日本語について

課題

講師：齋藤美幸

8月29日までに視聴する

動画視聴 基礎講座 異文化間理解（4単位）
対象別日本語教育（7単位）

オンライン

課題学習あり

49時間

- ・「生活者としての外国人」に日本語を教えるために必要な知識・技能や日本語教師に求められる態度が講師から直接学べる

Zoomを使用します。
参加できない方は、後日レコーディングが視聴できます。



対面



課題学習あり

32時間

- ・「生活者としての外国人」に日本語を教えるための活動案作りが学べる
- ・日本語を教える体験ができる

【会場】出雲弥生の森博物館
(出雲市大津町2760)

※対面3,4のみ、出雲市民会館
(出雲市塩治有原町2丁目15)

対面1 8月30日(土)13:00~17:00

4H

対面

異文化理解について / 日本語教師に求められる資質・能力について考えてみよう

課題

講師：齋藤美幸

対面2 8月31日(日)10:00~12:00
13:00~15:00

4H

対面

生活者としての外国人とやさしい日本語で話してみよう

課題

講師：齋藤美幸

1 9月2日までに 2 9月16日までに視聴する



動画視聴

基礎講座 ①文法（8単位）※9/2まで
②音声（5単位）※9/16まで

課題

7 9月3日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

日本語を教えるためのヒントを学ぼう①
～文法編～

課題

講師：深田みのり

8 9月10日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

日本語を教えるためのヒントを学ぼう②
～文法編～

課題

講師：深田みのり

9 9月17日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

日本語を教えるためのヒントを学ぼう③
～音声編～

課題

講師：深田みのり

10 9月24日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

『いろどり 生活の日本語』を知る

課題

講師：杵村正子

11 10月1日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

『いろどり 生活の日本語』を使ってみる

課題

講師：杵村正子

12 10月8日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

『いどり生活の日本語』を工夫してみる

講師：杵村正子

13 10月15日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

生活candoについて
/バックワードデザインについて

講師：関崎友愛

対面 3 10月18日(土)13:00~17:00

4H

対面

生活candoの一覧を見てみよう

課題

講師：深田みのり

対面 4 10月19日(日)10:00~12:00

13:00~15:00

4H

対面

身近な生活者としての外国人と話してみよう
日本語を教えるための教案作りに挑戦してみよう

講師：深田みのり

①10月28日までに ②11月4日までに視聴する

動画視聴

基礎講座 ①文字表記（3単位）※10/28まで
②語彙（5単位）※11/4まで

14 10月29日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

日本語を教えるためのヒントを学ぼう④
～文字表記編～

講師：深田みのり

15 11月5日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

日本語を教えるためのヒントを学ぼう⑤
～語彙編～

講師：杵村正子

対面 5 11月15日(土)13:00~17:00

4H

対面

日本語を教えるための教案作りをしよう

課題

講師：杵村正子

対面 6 11月16日(日)10:00~12:00

13:00~15:00

4H

対面

作った教案で、教える練習をしよう

講師：杵村正子

16 11月19日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

外国人住民の生活支援について

講師：新居みどり

17 11月29日(土)14:00~16:00

2H

オンライン

教材と著作権について

講師：渡辺 唯広、大橋 由希

12月

▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼
▼

18 12月3日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

地域の活動を学ぶ～やさしい日本語を
ベースにした日本語教室の事例～

講師：荒ひろみ

19 12月10日(水)19:00~21:00

2H

オンライン

実習の準備

講師：杵村正子

20 12月17日(火)19:00~21:00

2H

オンライン

地域の活動を学ぶ～外国人と日本人が
いっしょに作る日本語教室の事例～

講師：佐々木千賀子

課題

対面 7 12月20日(土)13:00~17:00

4H

対面

「生活者としての外国人」に対して
日本語を教える準備・実習をしよう

講師：杵村正子

対面 8 12月21日(日)10:00~12:00

4H

対面

「生活者としての外国人」に対して
日本語を教える実習をしよう／振り返り

講師：杵村正子

12月21日までに視聴する

動画視聴

基礎講座 言語学概論（1単位）
社会言語学（1単位）
第二言語習得（1単位）
教授法（1単位）

※基礎講座は2026年2月28日まで視聴可能です
※スケジュール、内容、講師は変更になる場合があります

講 師

・伊東 祐郎

国際教養大学 専門職大学院グローバル・
コミュニケーション実践研究科
日本語教育実践領域 特命教授

・関崎 友愛

日本語サービスYOU&I 代表、
国際交流基金日本語国際センター 客員講師、
埼玉県地域日本語教育コーディネーター

・新居 みどり

特定非営利活動法人 国際活動市民中心
(CINGA) コーディネーター

・渡辺 唯広

凡人社 編集部編集長

・大橋 由希

凡人社 編集部主任

・荒 ひろみ

おしゃべりカフェリラ代表

・佐々木 千賀子

蓬莱日本語教室 副代表

・加藤 早苗

インターナショナル日本語学校 校長
／インターナショナル日本語教員養成研究所所長

・斎藤 美幸

インターナショナル日本語学校 講師

・深田 みのり

インターナショナル日本語学校 講師

・杵村 正子

インターナショナル日本語学校 講師



SICにほんごコース日本語教師の活動について

登録すると、下記のプログラムで活動できます。(有償)

暮らしのにほんご（仮）

2026年度から始まるオンライン中心の「生活者のための日本語学習プログラム」です。

年間で、A1レベル100時間、A2レベル100時間、B1レベル150時間のクラスを実施予定です。
(レベルについては、下記「日本語教育の参照枠」を参考にしてください)

職場でにほんご

県内企業で働いている「外国人材のための日本語学習プログラム」です。

企業からの申込みを受け付け、SICが企業に日本語教師を派遣し、クラス形式で学習します。授業は1回90分、全12回または20回実施します。

日本語教育の参照枠

「日本語教育の参照枠」では、日本語教育に関する様々な指標を示しています。

その中でも最も基本的なレベル尺度は、日本語能力を6レベルで示した「全体的な尺度」(抜粋)です。

熟練した言語使用者	C 2	聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。自然に、流ちょうかつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。
	C 1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流ちょうに、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。
自立した言語使用者	B 2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解できる。お互いに緊張しないで熟達した日本語話者とやり取りができるくらい流ちょうかつ自然である。
	B 1	仕事、学校、娯楽でふだん出合うような身近な話題について、共通語による話し方であれば、主要点を理解できる。身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A 2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。
	A 1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

もっと知りたい方はこちら

https://www.nihongo-ews.mext.go.jp/information/framework_of_reference

